



福祉業界 / 社会福祉士

社会福祉法人 寝屋川市社会福祉協議会 杉谷嘉紀さん

大阪府立香里丘高等学校出身
2015年人間健康学部卒業

地域住民と深い信頼関係を築く。
そして、より頼られる存在へ。

地域住民の人々と一緒に、誰もが安心して暮らせる街づくりを進める社会福祉団体、寝屋川市社会福祉協議会が、杉谷嘉紀さんの職場です。今年の4月より、福祉委員と呼ばれるボランティアとともに地域のさまざまな課題解決を目指す「地域支援」と、経済的問題や社会的孤立などが要因となり、支援や援助を必要とする人々の生活環境の改善などを旨とする「個別支援」を担当しています。

もともと「人や世の中のために働きたい」という思いがあった杉谷さんは、高校時代に福祉の仕事に興味を持ち、関西大学人間健康学部に進学。大学の授業内で取り上げられた、ある社会福祉士が個別支援や地域課題の解決に向けて取り組む懸命な姿に惹かれ、同じ道を志したと言います。働き始めた当時、杉谷さんは、制度によって解決できない問題の多さに戸惑ったそうです。「簡単に解決できる問題ばかりではないので、まずは困っている地域住民一人一人の課題を見極めること。そして、当事者のペースに合わせ、寄り添う姿勢を忘れないよう心掛けています」。相談に訪れる地域住民の中には、人に対して恐怖心や不安感を抱く人も少なくないため、「何でも話してもらえよう、その方との信頼関係を築くことが大切だ」と考え、面談では話し方や話を聞く姿勢に気を付けています」と言い、面談を重ね、課題を解決し、相談者が一歩ずつ前に進む姿を目にした時にやりがいを感じると話します。学生時代に出会った人たちと今でも交流を続けている杉谷さん。仕事で行き詰まれば知恵を借り、時には勉強会に誘ってもらうなど、その経験から、「人は一人では何もできません。だからこそ、人との出会いやつながりをいつまでも大切にしてほしい。それが社会に出てからも、きっと役立つはずですよ」と、実感を込めて話してくれました。



ある1日のスケジュール

- 8:50 出勤
- 9:00 業務開始、メールチェックなど
- 10:00 外部の相談所にて相談者対応
- 12:00 自分休み
- 13:30 協議会内で会議
- 15:30 電話対応、事務作業、個別訪問
- 19:00 福祉委員との会議
- 21:30 退勤



スケジュール管理や出張時に使う手帳やペンのほか、外回りで活躍する自転車と地図が必需品。

Community Social Worker